

B 2 1 1	プロの技にせまる特許情報検索法 ～検索スキルの向上～
講座レベル ★★★	特許調査テーマに沿った検索式立案方法 技術用語・特許分類（F I・F ターム）の選定のコツ
講 師	酒井 美里（スマートワークス㈱ 代表取締役、元セイコーエプソン㈱ 知的財産本部）
日程・場所	東京会場 2026 年 1 月 21 日（水）
時 間	1 日間（10:00～16:00）// 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	東京会場 24 名
受講料	22,000 円（税込 24,200 円）
対 象	特許調査担当の初級から中級者
内 容	
精度の高い特許調査を行うには、調査テーマの明確化と的確な技術用語と特許分類の選定が重要なポイントとなります。さらに、技術用語や特許分類のメリット・デメリットを理解した上で、状況に応じて使い分けができることが求められます。 本講座では、特許情報のデータベースを知り尽くした特許調査のプロである講師が、調査テーマに則した検索式立案と的確な技術用語・特許分類の選定プロセスとその検証方法や留意点を丁寧に解説いたします。さらなる検索スキルの向上を目指す方にお勧めいたします。	
プログラム	
1. 検索式立案～キーワード・特許分類～ ・ 検索全体の流れ～試し検索と本検索～ ・ 「調査テーマの明文化～50文字要約～」 ・ 検索項目の注意点 ➢ キーワード（用語）検索 ➢ 特許分類を利用した検索 ・ 検索精度を上げる手順 2. 特許分類を利用した検索とは？ ・ 分類全体の注意点 ・ 特許分類選択時・検索時のポイント ・ F I 分類、F ターム分類の基礎 ・ 特許庁の分類付与手順 ・ 特許分類付与のルール（特許文献記載事項と解析パターン）を理解した検索の方法。べからず集。	3. 検索式作成事例紹介 ・ パターン1 ➢ 分類使用と「べからず集」検証 ・ パターン2 ➢ 分類、キーワードを「選ぶ・見送る」の選択検証 4. 検索式へ展開するコツ・ポイント ・ 調査目的と検索設計の概要 ・ 特許分類の選び方と検索式作成の例示 ・ 検食用キーワード 発見手順の例示

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。

URL:<https://www.jpds.co.jp/seminar/application2025.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。

セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。